

2020年（平成32年）の座間未来日記 ―ペルソナ市民生活像―

ペルソナ登場人物・プロフィール

属性	プロフィール
Aさん 10歳男性	座間市内の小学校に通う元気な4年生、小学1年生の妹がいる。 父親は相模原市の工場に通勤、母親は市内でパート勤務をしている。
Bさん 27歳女性	座間市生まれ、座間市育ち。 東京の理工系大学・大学院を卒業し、技術を活かす企業に就職。 就職した企業の座間市内の事業所に勤務している。 結果的に、両親と暮らしている。
Cさん 35歳女性	第一子を出産し、育児休暇中。 夫とも厚木市出身で、厚木市に住んでいたが、妊娠を契機に座間市に引っ越してきた。 夫は同級生で、座間市内の事業所に勤務している。
Dさん 62歳男性	座間市に自宅があるが、単身赴任を繰り返してきた。 現在は自宅から横浜市に通勤しているサラリーマン。 子どもは巣立ち、夫婦で暮らしている。 休日に、夫婦で山登り、トレッキングを楽しむことが生きがい。 最近、健康のことで退職後の生活のことが気になっている。
Eさん 73歳女性	昭和50年代に座間市に住宅を購入し、引っ越してきた。 専業主婦のかたわら、地域のボランティア活動などで活躍してきた。 最近、定年退職後の夫が地域活動にのめりこんでいる。 5年前に娘夫婦が家を買って近所に引っ越してきた。

※この「ペルソナ登場人物・プロフィール」は、イメージを膨らませるために設定したもので、未来日記に直接関係する内容以外も設定しています。

※「ペルソナ」とは、ラテン語で人の意味で、「ペルソナマーケティング」の略です。ある架空人物にプロフィール等を設定し、その架空人物を通してあるべき行政サービスを考え、市民視点からニーズをつかむものです。

## 1. 一健康への取組み 安心 健やかなまち

市民は、自らの健康づくりに励み、ライフサイクルを通じて地域の包括的な保健・医療サービスを受けられることによって、安心して健康な生活を楽しんでいます。

### 【2020年の座間 未来日記】

私は、座間市に住む62歳の男性です。単身赴任で家を離れる事が多かったのですが、ここ数年は自宅から横浜市の職場に通勤しています。

子ども達も巣立ち、休日に妻や友人達とで山登りやハイキングに行くのが日課となっています。単身赴任時代に少し料理を覚えたので、平日の夕方にNPOが企画している「男の健康料理レシピ」に通い、生活習慣病にならない料理を妻に披露するのが日々のひそかな楽しみになっています。おかげさまで、以前より私も妻も健康診断の結果が良くなっています。

先日、急に熱が上がったので近所の診療所にゆきました。風邪だったようですが、先生に、とても親切に診療していただきました。帰りがけに“かかりつけ医”について相談しましたら、こころよく引き受けていただきました。

以前、山登り仲間が体調を崩した際、“かかりつけ医”に相談し専門の大学病院を照会して頂き、事なきを得たと聞いたことがありました。通常だと、あの大学病院に行こうとは思えないと思いますので、妻からも早く“かかりつけ医”を見つけるよう催促されていました。

退職後も健康で安心して暮らせるよう、できることを今からはじめています。そうそう、私が通っている「男の健康料理レシピ」には、40歳代ぐらいのサラリーマンも多く顔を出しています。最近の若い人は、健康管理がしっかりしていますね。

## 2. 一自立 めくもり 支えあうまち一

市民は住み慣れた地域社会のなかで、自立し、互いに助け合い、支えあって、生涯を通して健やかに暮らしています。

### 【2020年の座間 未来日記】

私は、夫とともに30歳代半ばで家を買って、座間市に引っ越してきてからもう40数年、当時近所では、毎週のように引っ越しがありご近所さんがどんどん増え、子ども達も多くにぎやかなまちでした。みんな年をとり、この近所はほとんど70歳以上、高齢者のまちです。

でも、悲壮感はないんです。子ども達のかん高い笑い声は少ないのですが、ご近所同士、それぞれ上手く間合いが取れていて、自主的な“かい食会”が開かれたり、あまり表に出てこない方でも玄関には“お助け情報”がしっかりと貼られているようであり、各世帯を見回るボランティアが訪問した際には皆さん笑顔で対応してくれます。ご近所同士、根っこでは、繋がっているのだと思いますよ。

皆さん“お助け情報”って知っていますか、座間市では10年ぐらい前から、ある自治会が主体的にはじめた取り組みのようですね。今では、各地区で色々と工夫され、市全体に広がっています。

そうそう、私は長年福祉のボランティア活動を行っていますが、10年前と大きく変わったことがあります。

ひとつは、若い方々が福祉活動に積極的に参加するようになったことです。10年前は、このまま高齢化して活動を引き継ぐ人がいなくなるのでは、と心配したのですが、若い人達の価値観を前提に、仕事と家庭と地域活動とのバランスを保つ仕組みや、ソーシャルビジネスと言うような取り組みが行われた結果のようです。

ふたつ目は、私の夫が退職後にご近所の方に誘われ、ボランティア活動を始めたことです。一人暮らしのご老人や身体の不自由な方の、ちょっとしたサポートをしているようです。本人は、「介護保険と民間サービスとのすき間を埋める」と言って、張り切って活動しています。

私は、この春に近隣の市から、夫とともに引っ越してきた35歳の女性です。子どもを授かり、それまでの住まいでは手狭になったので新居を探していました。

座間には主人の勤め先があるのと、何より働きながら安心して子育てをする環境が整っていることがきめ手となりました。

近隣の市に住んでいましたので、以前から座間市は比較的保育環境が整っていると聞いていましたが、10年程前から市役所、市民、民間保育所が子育て環境を維持し、より一層充実するためにとことん知恵を絞った結果だと、夫と一緒にいったマタニティ講座で、講師の先生から聞きました。

### 3. 一緒に考え 共に歩む 安心のまち

市民相互や市民と行政との連携により、多くの市民が各々の個性を生かし、まちづくりの主役として活躍することで、市民生活が豊かになっています。

多様な地域コミュニティが活性化し地域の連帯感が増すとともに、防災・消防体制が整うことで、安心して生活できるまちになっています。

市民は、生活する上で様々なトラブルに巻き込まれることなく、また、差別や偏見が無い地域社会で安心して暮らしています。

#### 【2020年の座間 未来日記】

春に引っ越してきて市役所で転入届けを出した時に、母子手帳の交付など手続きがスムーズなのと自治会に加入するように勧められたのは驚きでした。

今まで、アパートに住んでいたのと、共働きで昼間は家にいないので、自治会どころか市役所という存在を意識したことはありませんでした。自治会に入るのは、少し気が重くなりましたが、ゴミも出しますし、子どもも生まれご近所づきあいも必要だと思いましたので、自治会長さんをご紹介いただき入会する運びとなりました。

引っ越してきて最初のころ、空き巣に入られそうになったことがありました。留守の時間を見計らって尋ねてくる人がいたらしく、ご近所の方が不審に思って交番に連絡していただいたおかげで未然に防ぐことができました。

夫は、座間市内の事業所に勤めていることもあり、近所に住む職場の同僚からも自治会や消防団の活動に誘われていたそうです。空き巣の一件があってから、すっかりご近所づきあいの必要性を考えるようになり、自治会と消防団の活動に積極的に参加するようになりました。

でも、実は、活動後の懇親会で幅広い年齢や職業の方々と仲よくなり、お酒を飲むのが楽しいことを私は知っています。

子どもが生まれ、3ヶ月検診の後などで他のお母さん方や、保健師さん、ボランティアの方々と話しながら、つくづく凄いなあと思ったのは、子育てに限らずですが、市役所、自治会、民生委員、NPOやボランティア団体など、様々な人達が絶妙に連携しあっていることです。

座間市に引っ越してきて、様々な方々が市民みんなの生活をサポートしているから、暮らしやすいまちになっているのだということを実感しました。

#### 4. 一豊かな心 明日への希望 育み合うまち一

市民は個性を尊重し、社会の一員として自立と共生の中で学びあい、知・徳・体の調和の中で伝統・文化を重んじそれぞれのライフステージにおいて教育の向上を目指し、豊かな心を育み、その結果を生かし、社会形成に主体的に参画する協働のまちづくりの中で豊かな生活を送っています。

##### 【2020年の座間 未来日記】

僕は、座間の小学校に通う4年生です。平成22年生まれで、ちょうど10歳。

今日も一年生の妹達を連れて学校へ行った。僕が上級生から教わったように、今では僕が妹達に、登下校で気を付けなきゃいけないことや、学校でのルールを教えているんだ。

学校での楽しみと言えば何と言っても給食。本当に美味しくて、おかわりはいつもすごい競争になる。この間授業で近くの田んぼと畑に行ったんだけど、そこで育ったお米や野菜で給食を作っているんだって。

この街には安全に遊べる、僕たち子どものための場所がたくさんあるんだけど、イタズラとかすると、どこで見ているのか、直ぐに大人の人達に注意されるから嫌になる。

でも、その話をお父さんにしたら「だからお前達は安心して遊んでいられるんだぞ」って言われた。大人の人達にはいろいろ言われるけど、勉強も楽しい事もたくさん教えてくれるから、やりたいことがいっぱいになって、毎日ワクワクしています。

ワクワクしていると言えば、お父さんとお母さんもだよ。二人とも昼間は忙しく働いているけど、時間をみつけてはハーモニーホールでやっているイベントに行ったり、市民体育館やグラウンドでスポーツしたり、図書館で本を借りたりしている。一緒に行くこともあるけど、いつも大勢の大人がいるんだよ。みんな、ホント、楽しんでいるよね。

## 5. ー安全 憩い 快適なまちー

市民は、安全で環境負荷の少ない交通環境、安心して住み続けられる居住環境、市民が集い、憩うことのできる空間が確保され、快適な都市生活を営んでいます。

### 【2020年の座間 未来日記】

私は、単身赴任で色々なまちを見てきました。当然、座間より便利なまちもありましたし、自然豊かなまちもありました。道路だって立派にきちり整備されているまちだってあります。単身赴任時代は、休みの日に座間の自宅に帰ってくると、道路も狭いし、駅前もパツとしないなあと思っていましたが、10年前に海老名インターチェンジが開通したあたりから、だいぶ変わってきたので驚いています。

「自動車のナビゲーションのデータを入れ替えないと」と思いつつ、あそこの工事が終わってからと考えているうちに、入れ替え時を逃してしまっています。そうそう、自動車で思い出しましたが、今じゃガソリンで走る車は、一部の車種と輸出用にしか作っていないらしいですよ。

休日は、妻や友人達とで山登りやハイキングに行くのが日課となっていますが、座間市内での散策も結構楽しんでます。以前は不便としか思っていなかった、まちのアップダウンが適度な運動にもなりますし、芹沢公園や谷戸山公園、相模川、それに湧水などが点在していて、よい休憩場所になっています。

それに、20数年前に子ども達と手をつないで歩いた時を思い出しながら、市内で散策するのは楽しいですね。何と言っても、昔よりも景観とか環境っていう事をみんな考えているみたいで、歴史のある木々や神社、湧水の周辺など、いがいと贅沢な本物をわかっている大人のまち、という感じがします。

## 6. ーおいしい水 安全な水 衛生的なまちー

市民は、安全でおいしい水の供給を安定して受けています。また、下水道の適切な維持・管理により、衛生的な生活が営めるとともに、大雨の時でも浸水などの被害が少ないまちになっています。

### 【2020年の座間 未来日記】

他のまちと座間を比べると、色々な再発見がありますね。単身赴任をして、直ぐに気がついたのは、水道の蛇口をひねって出てくる水の味でした。最近でも、トレッキングに出かけたり、市内を散策したりするときに再認識しているのは、座間は「水のまち」なんだなあという事です。赴任先で知り合った友人が家に遊びにくる時には、ペットボトルに入った市販の座間の水を用意しておいて、冷やして帰りがけに渡しています。意外と好評ですよ。世界的に水の問題が話題になっていますしね。

先日、市内を散策していたら、子ども達が川に入っていたので何かと尋ねたら、水生生物の調査を行っているんだと応えてくれました。すんでいる生物の種類によって、水のきれいさがわかるようで、ここ数年市内の川は「きれいな水にすむ虫がいるんだよ」って子ども達が教えてくれました。

20数年前、我が子達には「川は汚いし、危ないから近づくな」って言っていたけど、最近は注意のしかたも変わったんでしょうね。

## 7. 一環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち

市民や事業者は、世界的な地球温暖化への取り組みや、ごみの分別や減量化・資源化など環境負荷の軽減に積極的に取り組み、自然と調和した良好な環境を形成しています。

産業においては、個々の経営が安定していることはもとより、農商工連携のもとで地域資源や観光資源の活用などにより、地域経済の活性化が図られるとともに、安定した雇用と福利厚生などにより、充実した生活環境が維持されています。

### 【2020年の座間 未来日記】

私は、座間市生まれ、座間市育ちの27歳女性です。

理屈っぽいのが親譲りなのか、理工系の大学・大学院へと進み、先端技術に関わりたくて、教授の推薦もあり今の企業に就職しました。長い研修が終わって配属された先がここで、とっても驚いています。

私が高校の時、ちょうど10年ぐらい前の進路を悩んでいた時、テレビや新聞で「地球環境」が大きなニュースになっていましたが、当時は具体的なことはよく分かりませんでした。今、座間は、世界に向けて「環境技術」を発信する拠点になっています。そんな中で、世界各国の一流の技術者達と働けるのは、とってもラッキーです。

仕事柄、生活が不規則になったり、ストレスが溜まることも多いのですが、昔からの友人が結構市内に住んで、働いている人がいますので、たまに駅前で食事をしたりしています。以前よりは、私達でも行きやすいお店が増えましたね。

友人達と話をしたり、座間で働いてみてとても驚いたことは、地域の産業がとてもキメ細かに連携していることや、その技術が一流のものばかりだということです。今の時代も、最後は職人技に頼っているのが本当のところ、すごい技術を持つ人や企業が多いのも座間のすごいところですよ。

この前、高校の同級生が認定農業者になったって連絡がきたから、お祝い会を開きました。昔は無口だった同級生が、「農業のスペシャリストになるんだ」って熱く語りはじめたのには驚きました。数日後に、教えてもらった地産地消のスーパーで、彼の顔写真と野菜とが並んでいるのを発見し驚きましたけど、誇らしい気持ちにもなりました。

62歳になり、単身赴任を繰り返したサラリーマン生活も最終コーナーを回り、自宅にいる機会が多くなると、妻との共通の話題を見つける必要性をつくづく感じています。

今は、山登り、トレッキング、健康レシピ、ご近所の高齢世帯、自分達と年老いた両親の介護の話題が主ですね。

家電の使い方の訪問指導、地元農産物や買い物の宅配、過去の通院と投薬から健康生活へのアドバイスなど、高齢者の生活を支える色々な民間のサービスが質・量ともに増え、何を利用したい、ここは評判が良いとか、安い、高いとか…、高齢者の時代ですね。

高齢者向けの色々な商売や公共サービスがあるのを何故知っているか…、実は情報源は市役所の逆引き検索システムというものなのです。年齢や興味のある分野など、基礎的な情報を入力すると、利用可能なサービスなどが一覧で分かるというもので、最初は行政情報だけだったようですが、今では公益的な民間サービスについても検索できるようです。

当然、パソコンが使えなくたって、調べられるように工夫されています。

## 8. ー未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営ー

市役所では、目標達成に向けた施策の重点化や財源の有効配分を行うことで経営資源が有効に活用され、柔軟で機動性の高い行政経営が行われています。

また、財政基盤の強化、資産の適切な管理・運用を行うことで、社会情勢が激変する時代においても将来にわたり持続的に発展可能な希望をもてる都市となっています。

### 【2020年の座間 未来日記】

今、40年間のサラリーマン生活を振り返ってみると、激変の時代の真っ只中を生きてきたのでは無いかと、つくづく感じています。激動の80年代と言われた入社当時こそ景気が良かったのですが、バブル経済の崩壊に始まり、管理職になってからは世界規模の大不況への対応、社会の価値観や世界経済情勢が予測できないスピードと規模で激変し、常に前例の無い中でのチャレンジの連続でした。

色々な土地に赴任して、それぞれの市役所の状況も耳に入ってきました。

正直に言って、昔は、座間市はどうなるのかと心配していました。市役所や文化会館は立派なのができるのですが、その後は、財政悪化の話が大々的に出てきましたね。

ちょうど、会社の財務部門にいましたので、どうして市役所が倒産しないのか、不思議に思ったぐらいでした。

今は、我々民間企業と同じように発生主義の会計で、減価償却分を補う程度の資金も準備されていると聞いています。

市役所、市民、民間企業など垣根を越えて、ボランティアだけでは無い本当の意味での協働に取り組んだ成果だと思いますし、その方向に、しっかりと舵を切れたのが10年ほど前だったのでは無いでしょうか。当時は、単身赴任していましたが、会社のことで頭がいっぱいで、座間市のことを考える余裕はありませんでしたが、今、色々な方に話を聞くと、そんな風に思います。

## 9. ー市民起点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所ー

市民は、市民起点で柔軟な発想と主体的な行動ができる職員や市役所に対し、十分な信頼感を持っています。

### 【2020年の座間 未来日記】

春に引っ越してきて市役所で転入届けを出した時に、母子手帳の交付など手続きがスムーズなのと自治会に加入するように勧められ、驚いたことは先ほどお話ししたでしょうか。

実は、その時に市役所で応対していただいた方の印象が良かったのを覚えています。今は育児休暇中ですが、それまでは、私もある会社の顧客窓口を担当していましたので、接客の難しさは理解している方だと思います。

その日は、高齢者の方、子ども連れの方、外国の方など、様々な方が窓口にきていましたが、総ての方に配慮された、気持ちのいい対応をされていましたね。

最近、夫が消防団の関係で市役所に行った際も、市役所の方が一緒になって熱心に解決策を考えていただけたようで、夫も「俺もやる気が出てきたよ」と笑顔で話していました。でも、その後、近所の仲間と飲みに行ったようですがね。

以上